



## 平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月11日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 大  
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績（平成24年12月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	449	△6.5	60	—	50	—	50	—
24年11月期第2四半期	480	30.2	△82	—	△134	—	△141	—
(注) 包括利益	25年11月期第2四半期		72百万円 (—%)		24年11月期第2四半期		△133百万円 (—%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	1.36	—
24年11月期第2四半期	△3.84	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第2四半期	2,741	1,277	46.5	34.66
24年11月期	2,705	1,205	44.4	32.68
(参考) 自己資本	25年11月期第2四半期	1,275百万円	24年11月期	1,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年11月期の連結業績予想（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610	△90.1	66	—	60	—	50	—	1.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
 新規 1社 （社名）有限会社ヘラクレス・プロパティ  
 除外 1社 （社名）ペトリュス・プロパティ合同会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期2Q	37,067,371株	24年11月期	37,067,371株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	277,500株	24年11月期	277,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期2Q	36,789,871株	24年11月期2Q	36,789,871株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年12月1日～平成25年5月31日)における国内経済は、昨年末の政権交代以降、新政権による新たな経済対策や日銀の大規模な金融緩和期待から株式市況や為替相場が急速に変動し、景気回復のマインドが高まりつつあります。

当社グループの主要事業である不動産ファンド業界では、J-REIT市場において、日銀が「量的・質的金融緩和」の導入を公表し、J-REITの買入れの拡大も盛り込まれたこと等により、東証REIT指数は大幅に上昇しました。新規上場の承認や公募増資の発表も相次ぎ、現物不動産取得の動きが拡大し、私募ファンドもより活発に取引される等、事業環境は回復基調にあります。国内株式市場においては、円安が進行し企業業績が回復するとの期待が強まったことから堅調に推移し、日経平均株価は5月に年初来高値を付けました。

こうした状況の下、当社グループは、新ファンド組成の提案やファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の拡大に向けて営業力の強化を図り、販売会社等に対して営業活動を行ってまいりました。インベストメントバンク事業におきましては、割安で優良な不動産物件の購入・売却活動を積極的に行い、一部売却収益を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業におきましては、ファンド組成に向けて組織態勢を強化し、複数の事業案件を具体化すべく鋭意準備を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高449百万円(前年同四半期比6.5%減)、営業利益60百万円(前年同四半期の営業損失は82百万円)、経常利益50百万円(前年同四半期の経常損失は134百万円)、四半期純利益50百万円(前年同四半期の四半期純損失は141百万円)となりました。

#### <アセットマネジメント事業>

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は176億円(一部円換算US\$1.00=101.18円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は292億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。その結果、アセットマネジメント事業においては、売上高118百万円(前年同四半期比7.2%減)、営業損失16百万円(前年同四半期の営業損失は23百万円)となりました。

#### <インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、保有不動産の売却による収入及び当社グループが保有する物件からの不動産賃貸収入を計上いたしました。証券投資等部門では、売買目的有価証券の運用益、㈱FCインベストメント・アドバイザーズにおいて金融商品仲介業務による手数料等を計上いたしました。その結果、インベストメントバンク事業においては、売上高331百万円(前年同四半期比6.2%減)、営業利益143百万円(前年同四半期比423.7%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

#### (資産の状況)

流動資産は前連結会計年度末比325百万円増の2,524百万円となりました。これは主に、資金運用方針の変更に伴う投資有価証券から売買目的有価証券及び事業関連投資の営業投資有価証券への振替え等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比289百万円減の217百万円となりました。これは主に、保有する投資有価証券の有価証券及び営業投資有価証券への振替えによる減少であります。

以上の結果、資産の部は2,741百万円となり、前連結会計年度末比36百万円増となりました。

#### (負債の状況)

流動負債は前連結会計年度末比46百万円減の1,422百万円となりました。これは主に、未払金及び借入金の減少を中心に未払債務が減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比10百万円増の41百万円となりました。これは主に、その他の固定負債の増加によるものであります。

以上の結果、負債の部は1,464百万円となり、前連結会計年度末比36百万円減となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において、有利子負債は前連結会計年度末比18百万円減の1,335百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産の部は1,277百万円となり、前連結会計年度末比72百万円増となりました。これは、主に四半期純利益の計上と有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年1月11日公表の平成24年11月期決算短信から変更はありません。なお、平成25年7月3日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、(有)ヘラクレス・プロパティは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、ペトリュス・プロパティ(同)は匿名組合出資契約が終了したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において資金運用方針を変更したことにより、その他有価証券の一部を売買目的有価証券及び事業投資目的有価証券に変更しております。この保有目的の変更により、投資有価証券が422百万円減少し、有価証券が121百万円、営業投資有価証券が300百万円増加しております。なお、保有目的変更時の評価差額99百万円については売上高に含めており、当第2四半期連結累計期間における売上高に含まれる有価証券評価益は82百万円です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,041	931
売掛金	24	28
未収入金	19	6
有価証券	14	131
営業投資有価証券	5	310
販売用不動産	1,024	1,051
その他	68	66
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	2,198	2,524
固定資産		
有形固定資産	24	23
無形固定資産	1	0
投資その他の資産		
投資有価証券	379	93
その他	101	99
投資その他の資産合計	480	193
固定資産合計	506	217
資産合計	2,705	2,741
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	1,253	1,235
未払金	33	16
未払法人税等	7	4
賞与引当金	—	6
その他	73	60
流動負債合計	1,468	1,422
固定負債		
その他	31	41
固定負債合計	31	41
負債合計	1,500	1,464

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,131
資本剰余金	609	609
利益剰余金	△531	△481
自己株式	△15	△15
株主資本合計	1,193	1,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	30
為替換算調整勘定	△1	0
その他の包括利益累計額合計	8	31
少数株主持分	3	2
純資産合計	1,205	1,277
負債純資産合計	2,705	2,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	480	449
売上原価	310	159
売上総利益	169	290
販売費及び一般管理費	252	229
営業利益又は営業損失(△)	△82	60
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	0
為替差益	—	1
その他	2	0
営業外収益合計	11	2
営業外費用		
支払利息	63	13
その他	0	0
営業外費用合計	63	13
経常利益又は経常損失(△)	△134	50
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△134	50
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	2	△3
法人税等合計	6	0
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△141	49
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△141	50



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△141	49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	20
為替換算調整勘定	0	2
その他の包括利益合計	8	22
四半期包括利益	△133	72
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△133	72
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△134	50
減価償却費	43	11
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	△6
受取利息及び受取配当金	△8	△0
支払利息	63	13
為替差損益(△は益)	△0	△1
固定資産除却損	—	0
匿名組合分配損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	43	△3
有価証券の増減額(△は増加)	0	△98
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	0	△4
たな卸資産の増減額(△は増加)	204	4
前払費用の増減額(△は増加)	△13	3
未収入金の増減額(△は増加)	448	12
未払消費税等の増減額(△は減少)	6	△9
未払金の増減額(△は減少)	△26	△5
その他	△33	△63
小計	600	△98
利息及び配当金の受取額	8	0
利息の支払額	△62	△12
法人税等の支払額	△34	△8
営業活動によるキャッシュ・フロー	513	△119
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う匿名組合契約終了による収入	—	3
その他の関係会社有価証券の取得による支出	△12	—
敷金の差入による支出	—	△0
その他	△1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	2
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△22	—
1年内返済予定の長期借入金の返済による支出	△224	△18
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246	△18
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	251	△132
現金及び現金同等物の期首残高	927	941
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	21
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,178	831

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	127	345	7	480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	—	6
計	133	345	7	486
セグメント利益又は損失(△)	△23	33	△5	4

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	4
セグメント間取引消去	19
全社費用(注)	△106
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△82

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	118	223	107	449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	118	223	107	449
セグメント利益又は損失(△)	△16	56	87	127

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	127
セグメント間取引消去	19
全社費用(注)	△86
四半期連結損益計算書の営業利益	60

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。